令和7年生駒市農業委員会4回定例会会議録

会議主管課 農業委員会事務局

会議開催日時 令和7年4月11日(金)午後2時00分

会議開催場所 市役所 401・402会議室

出席者 会長 10番 中井 啓二

農業委員会委員

1番 山角 ひろ子 2番 奥野 通孝

3番 田中 良治 4番 稲葉 健三

5番 今井 正徳 6番 岩前 利典

7番 松尾 克巳 8番 岡田 啓秀

9番 有山 富士美

農地利用最適化推進委員

辻 英雄 影林 則昭

池田 典夫 池谷 初英

前田 隆男 棚田 秀治

谷野 諭

説明者 事務局 局長 松井 伸幸

係長 塚崎 智茂 主査 田所 智

傍聴者 0名

議事次第

審議事項

1. 農地法第3条第1項の規定による許可承認について
2. 農用地利用集積等促進計画に対する意見聴取について
3. 農地の造成工事に係る届出について

報告事項

1. 農地法第3条の3の規定による受理通知について
2. 農地の転用事実に関する照会について
3. 農地の時効取得について
4. 農地転用許可及び工事完了の報告について

その他

配布資料

- 本日の定例会議の「議案」及び位置図
 - 農地集積集約にかかる資料
 - 「女性農業者向け農業者年金マンガ版パンフ」
 - 2025年農業委員会活動記録セット
 - 農政なら
 - 令和7年度サツマイモ苗の植付について
- 係長 出席者数による会議の成立を確認
傍聴人 0 名
生駒市農業委員会会議規則第7条の規定により中井啓二会長に議事進行を依頼
- 議長 開会宣言
議事録署名について、議長である私(10番 中井会長)と7番 松尾委員、8番 岡田委員に
お願いしたい。
- 議長 議案第1号「農地法第3条第1項の規定による許可承認について」の説明を事務局に依頼
- 主査 〔議案読み上げ〕

農地法第3条第1項は、農地の所有権移転や、賃貸借・使用貸借などの権利設定を行う場合、農業委員会の許可が必要であることから、申請がされたものである。

No.1の申請地の位置について

別紙位置図の地図番号(1)で、生駒北学校給食センターの北東約350mのところにある高山町地内の農地

申請理由について

本申請について、譲渡人は申請農地と隣接する宅地とを併せて売買され、譲受人は宗教法人の代表役人を務めており、宅地は宗教法人で購入し、農地は農業を営んでいる個人で買い受けることになった次第であり、当該農地では小麦を栽培する予定である。

現地調査について

今月4日に会長をはじめとする農業委員5名、担当農地利用最適化推進委員と事務局で現地調査を行っている。

No.2の申請地の位置について

別紙位置図の地図番号(2)で、南田原集会所の西約500mのところにある南田原町地内の農地

申請理由について

本申請について、当該農地は20年以上前から譲受人のご両親が耕作を手伝うようになり、譲受人も当時から手伝っており、概ね3年前から譲受人のご両親の高齢化に伴い、譲受人が中心となって手伝うようになった。その間、地元の農家の方から農業について学び、技術を習得されてきた。当該農地は譲渡人が市外に居住しており、管理が不便なことから、今般

買い受けることになった次第であり、当該農地では粟、エンドウ、トマト、ナス、キュウリ、スイカを栽培する予定である。

要件について

農機具等については、耕運機、草刈り機、軽トラ等の畑作に必要なものは所有されている。

現地調査について

今月4日に会長をはじめとする農業委員4名、担当農地利用最適化推進委員と事務局で現地調査を行っている。

No.3～5の申請地の位置について

別紙位置図の地図番号(3)で、国道168号線の大阪府との県境の手前約200mのところを右に曲がり、約300m進んだ先の右手にある北田原町地内の農地

申請理由について

本申請について、譲受人は元々四国の農家出身で、関西に出てくる前は実家の農業を手伝っていたが、30年以上前に譲渡人の一人と知り合いになったことから当該農地の耕作を手伝うようになった。その間に持っていた技術に加え、近隣農家の方からのアドバイス等もあり、農業技術の向上とともにさらに多くの農作業を手伝われることになり、今般買い受けることになった次第であり、当該農地では季節野菜を栽培される予定である。

要件について

農機具等については、耕運機、トラクター、草刈り機、軽トラ等必要なものは所有されている。

現地調査について

今月4日に会長をはじめとする農業委員4名、担当農地利用最適化推進委員と事務局で現地調査を行っている。

No.6の申請地の位置について

別紙位置図の地図番号(4-1)で、壱分小学校の西約250mのところにある壱分町地内の農地

申請理由について

本申請について、譲受人は当該農地の西隣に農地を所有していたが、概ね一体となっており、都合上、譲受人が管理をされていたが、今般贈与を受けることになった次第であり、当該農地では玉ねぎ、ナス、キュウリをされる予定である。

要件について

農機具等については、耕運機その他一式を所有されている。

現地調査について

今月4日に会長をはじめとする農業委員4名、担当農地利用最適化推進委員と事務局で現地調査を行っている。

○議長 議案第1号(No.1)について地元推進委員へ補足説明を依頼

○委員 譲受人は本農地の近所にお住まいで、本農地では麦などを栽培する予定である。現在も自宅

付近で野菜等を栽培されている。

- 議長 議案第1号(No.2～5)について地元推進委員へ補足説明を依頼
- 委員 No.2は譲渡人が市外に住んでおり、譲受人のご両親が30年前から農作業の手伝いをされていたということで、軽トラやミニ耕運機等、畑作業に必要なものはあると聞いている。No.3～5は市外にお住いの譲受人が30年以上前から本農地で農作業の手伝いをされていたということで、譲渡人とも30年来の知り合いである。現地確認の時も、農作業のトラクターや耕運機等がたくさん置いてあった。
- 議長 議案第1号(No.6)について地元推進委員へ補足説明を依頼
- 委員 譲受人は本農地の近くで農業をされているという事で、本農地もあまり大きな農地ではなく、特に問題はないかと思う。
- 議長 意見・質問について出席委員へ確認
- 委員 No.3～5の譲受人だが、四国の実家が農家だとお聞きしたが、関西に来られて長くなると思うが、それでも農業者とみていいのか。新規就農という扱いにはならないのか。
- 主査 営農計画書等も提出してもらい、新規就農者として面談もしている。No.2の譲受人も同じく営農計画書を提出してもらい、面談もしており今般議案に上げさせていただいた。
- 議長 意見・質問について出席委員へ確認
[「なし」の声あり]
- 議長 異議の確認
[「異議なし」の声あり]
- 議案第1号「農地法第3条第1項の規定による許可承認について」の承認を宣言
- 議案第2号「農用地利用集積等促進計画に対する意見聴取について」の説明を事務局に依頼
- 主査 [議案読み上げ]

この計画書にある、公益財団法人 なら担い手・農地サポートセンターとは、橿原市にあり、奈良県内の農地を集約・集積、つまり農地を借り受け、担い手に貸し付けを行う事業の農地中間管理事業を専門的に推進する団体である。

なら担い手・農地サポートセンターの貸し借りの制度については、市街化調整区域の農地を持つ市町村でも利用できるようになり、生駒市においても、市街化調整区域の範囲内の農地であれば利用できるようになっている。

この計画は、農地所有者が なら担い手・農地サポートセンターに貸し付け、なら担い手・農地サポートセンターが借り受け人に農地を貸与するという一連の手続きとなっている。

No.1の申請地の位置について

別紙位置図の地図番号(5)で、高山溜池の北約450mに位置する、高山町地内の農地申請理由について

使用借人は、当該農地の南側で農地を借り、そこを中心に営農されてきたが、今般営農拡大のため、新たに農地を借り受けることになった次第であり、本農地では露地野菜を作付けする予定である。

現地調査について

今月4日に会長をはじめとする農業委員4名、担当農地利用最適化推進委員と事務局で現地調査を行っている。

No.2～5の申請地の位置について

別紙位置図の地図番号(2)で、南田原集会所の西約500mのところにある南田原町地内の農地

申請理由について

使用借人は、生駒市のファーマーズスクールで農業を学ばれ、卒業後は市内の農家でも研修された後、昨年10月に南田原町の農地を借りて就農された。今般営農拡大のため、新たに農地を借り受けることになった次第であり、本農地では露地野菜を栽培予定である。

現地調査について

今月4日に会長をはじめとする農業委員4名、担当農地利用最適化推進委員と事務局で現地調査を行っている。

以上のことから、議案第2号「農用地利用集積等促進計画に対する意見聴取について」については、農地中間管理事業の推進に関する法律第19条第2項に規定する要件に該当しているため、特に問題ないとする。

以上、審議をお願いしたい。

- 議長 議案第2号(No.1)について地元推進委員へ補足説明を依頼
- 委員 借人は近くにハウスを3棟から4棟持っており、その中でたい肥作りもされている。今までにも売買等で農地を取得されており、このたび農地を借りそこで露地野菜を作られると聞いている。
- 議長 議案第2号(No.2～5)について地元推進委員へ補足説明を依頼
- 委員 申請は4筆だが、実際は1枚の畑になっている。借人は前回に今の農地よりもだいぶ北にある農地を、担い手サポートセンターを通して借りられ、ハウレンソウ等を作り出荷されている。今回は事業拡大ということで本農地でも露地野菜を作ると聞いている。横に道があり田に横付けはできないが田から出入りはできると聞いている。
- 議長 意見・質問について出席委員へ確認
- 委員 借人は何歳くらいの方なのか。
- 主査 No.1の借人は50代くらいの方で、就農されてから今年で15年ほどになる。No.2～5の借人は40代くらいだったと思う。
- 委員 水利の関係はどうするのか。
- 主査 No.1はハウスに雨樋を置いてタンクをたくさん用意されており、そこに雨水を集め使っている。
- 委員 あれだけの大きい畑をするのに雨水だけでいけるのか。本申請地はハウスの上だがどうなのか。下から雨水を運んでいて水は足りるのか心配だ。
- 委員 本申請地とハウスの間に池があり、普段はそれをポンプアップして使っているのではないかと
思う。
- 委員 もともと水田なのか。

- 委員 水田である。道の横に側溝があり、おそらく水はかなりの量流れてくると思う。
- 委員 No.1の農地の奥に大きな池がある。
- 委員 その池の水を使うのに水利はどうなっているのか。
- 委員 昨年までは水田をされていた。私も詳しく確認はしていないが、水利についてはおそらく問題はないかと思う。農地の奥に細い川が流れており、それを使う事も考えておられるかと思うし、畑なので水田のように常時水が必要というわけでもない。軽トラックなどにタンクを乗せて水を散布することもできるのではないかと思う。もともと田なので通常の畑よりは水持ちはいいのではないかと思う。
- 議長 No.2～5の水利はどうか。
- 委員 もともと田なので横に水路があり、水は5月から9月までは水路の水を取ることができる。田の所有者が水利費を払っていると思う。
- 委員 事務手続き上の話を聞きたいのだが、表題に(案)とあるがこれはいつの時点で消えるのか。
- 主査 今ご審議をお願いした後、承認を得た時点でこの(案)は消させていただきます。
- 議長 農業委員会で付けた(案)なのか。
- 主査 これに関したら、農林課から書類が出てきて農業委員会で審議するというので、それに基づいて計画書ができています。その内容を記載しているのがこの議案書で農業委員会が意見を求められており、それに対して問題がないと農林課に回答することで、その時点で(案)は消えると考えている。
- 議長 意見・質問について出席委員へ確認
[「なし」の声あり]
- 議長 異議の確認
[「異議なし」の声あり]
議案第2号「農用地利用集積等促進計画に対する意見聴取について」の承認をすることとし、
生駒市長に対しては「問題なし」と回答
議案第3号「農地の造成工事に係る届出について」の説明を事務局に依頼
- 主査 〔議案読み上げ〕
農地造成工事とは、農地の効率的な利用を追求した盛土、切土の行為であり、農地法の規定による転用許可等が不要だが、工事期間が6ヶ月以内の場合、生駒市では農地造成指導要綱に基づき、届出の提出が必要である。農業委員会は現地調査を行い、農地の効率的な利用が確保され、隣接地関係者の同意があることなど、協議・確認することとなっている。
農地造成届出については、審議により承認があると、申請者に許可書を発行することとなり、その後工事着手届、工事完了届を提出させることになっている。
- No.1～10及びNo.16～17の申請地の位置について
別紙位置図の地図番号(4-2)で、近鉄生駒線一分駅の北東約200mにある壱分町地内の農地
申請理由について
当該地は、隣接地の開発事業に伴い、形状、高さの調整のため造成されることである。

造成後はNo.1～10はみかん、ゆず、八朔等の果樹を、No.16～17はキュウリ、トマト等の野菜を栽培されるとのことである。

No.11～14の申請地の位置について

別紙位置図の地図番号(4-3)で、近鉄生駒線一分駅の北東約200mにある壱分町地内の農地

申請理由について

当該地は、隣接地の開発事業に伴い、形状、高さの調整のため造成されるとのことである。造成後はみかん、ゆず、八朔等の果樹を栽培されるとのことである。

なお、申請地の内、No.1、7、8、11、13の5筆については、一度申請があったが取り下げの申出があった。ただ議案書等は取り下げたものを消すのに時間が足りず、今般あげさせていただいているが、申請を取り下げられるということで審議案件からは削除していただきたい。

現地調査について

今月4日に会長をはじめとする農業委員4名、担当農地利用最適化推進委員と事務局で現地調査を行い、周辺農地への影響等についても問題はなく、今後も農地としての利用に支障がないものであると考える。

以上、審議をお願いしたい。

- 議長 議案第3号について地元推進委員へ補足説明を依頼
- 委員 現地確認を行ったところ、造成地の隣接する農地でその造成に合わせて形状を変更して盛土をするということだった。盛土に関しては現状の農地の上を何cmか削りとり保管しておいて盛土をした後でまたその土を一番上に30cmほど乗せ、農地として使いたいという事だった。
- 議長 意見・質問について出席委員へ確認
- 委員 果樹園をするのに隣が造成するからと言って盛土をしなくてもできるのではないか。普通の田で十分果樹園はできると思う。
- 主査 図面を確認したところ、今回は切土工事が大半を占めており、周りの住宅地を造成する関係である程度高さを下げないと周りとのバランスがとれない。
- 委員 盛土ではないのか。
- 主査 盛土する部分もある。盛土する部分の高さに関しては開発区域は125mから126mくらいあり、こちらが切土することで124mから125mの高さに合わせられる。高低差があると田もやりにくく、目的にもあったと思うが、開発行為に伴い高さを調整し果樹園をすると聞いている。
- 委員 今、高低差が100mと言ったと思うが。
- 主査 高低差ではなく計画高である。124mとか125mと言っているのは海拔の表記になっている。
- 係長 ポイントで基準点を設定してそこからの高さを何mと設定するため、高低差分を切り盛りすると聞いている。
- 委員 県の農地造成の規格はクリアしているのか。奈良県では切土盛土の高低差の決まりがあったかと思う。その辺りはクリアされているのか。

- 主査 これまでの宅地造成等規制法が改正されて、盛土規制法に代わる。奈良県では5月7日以降の許可はその規制になる。現段階では農地の場合は宅地造成等規制法になるので、盛土切土に関しては農地の場合は宅地造成等規制法の対象外になるので、現時点ではこれらの手続きに関して特に規制はない。ただ5月7日以降になったらこれも含めて盛土規制法の手続きが必要になってくる。
- 委員 前は1mを超えるものについては許可が必要だったと思う。5月7日以降は規制がいらなくなるのか。
- 主査 5月7日以降であれば農地であっても許可が必要になる。
- 委員 農地であればというが、今回は農地ではないのか。
- 委員 今までも農地造成で1mを超えるものは許可がいていたはずだが。
- 主査 市街化調整区域の農地の場合は工事期間が6か月、盛土の高さが1m、面積が3000㎡のどれか一つでも超えると農地の一時転用となり許可が必要になる。ただし今回の場合は市街化区域なので、そのどれも当てはまらない。
- 委員 市街化区域なら最初に言ってほしかった。
- 委員 No.1～14の所有者だが、どんなメンバーでどのような機械等を使ってされているのか教えて欲しい。この面積を今回造成によって農地になると思うが、この方の農業日数や農業人員など教えて欲しい。
- 主査 営農計画書では本人の名前しかなかったが、世帯等は調べてみる。耕運機は持っている。
- 委員 少し気になったのが、今回5筆取り消して面積は4000㎡から3000㎡に減ったと思うが、これだけの面積が増えて、このほかにも農地を所有されていた場合にどういう形態で農業をされていくのかが気になる。次回でもかまわないので教えて欲しい。
- 議長 意見・質問について出席委員へ確認
[「なし」の声あり]
- 議長 異議の確
[「異議なし」の声あり]
- 議長 議案第3号「農地の造成工事に係る届出について」の承認を宣言

報告第1号「農地法第3条の3の規定による受理通知について」

報告第2号「農地の転用事実に関する照会について」

報告第3号「農地の時効取得について」

報告第4号「農地転用許可及び工事完了の報告について」

を、事務局に一括して説明を依頼

報告第1号「農地法第3条の3の規定による受理通知について」

○主査 [報告読み上げ]

概要説明

この届出は、許可が不要な権利取得、主なものとして相続、時効取得だが、そのような事由による権利の移動があった場合、本条に基づく届出を義務づけることにより、農業委員会が権利の移動を知り、その機会を捉えて、農地の適正かつ効率的な利用のための措置を講ずることができるようにするためのものである。

No.1～3は全て相続により所有権を取得された農地について届出されたものである。

報告第2号「農地の転用事実に関する照会について」

○主査〔報告読み上げ〕

概要説明

この報告は、現況、農地性が無いものを他の地目に変更するため、法務局に地目変更申請がなされた場合、法務局から農業委員会に照会があった事案である。

No.1については現地調査の結果、農地性があると判断したため、「畑」で回答している。

No.2～3については、昭和40年に住宅用地として5条の許可が下りており、今般地目変更の申請がされたものである。

報告第3号「農地の時効取得について」

○主査〔報告読み上げ〕

概要説明

この報告は、許可が不要な権利取得の内、時効取得がなされた農地につき、法務局から通知があったものを報告しているものである。

時効取得とは、所有の意思をもって、平穩に、かつ、公然と他人の物を10年または20年占有することにより、その物の所有権を取得することである。

報告第4号「農地転用許可及び工事完了の報告について」

○主査〔報告読み上げ〕

概要説明

この報告については、市街化調整区域の転用申請があり、奈良県知事による転用の許可が下りたこと及び許可後転用工事が完了したことの報告をしている。

○議長 意見・質問について出席委員へ確認

〔「なし」の声あり〕

○議長 「農地集積集約に係る情報交換」について事務局に依頼

○主査 地域計画に係る集落座談会について報告

・小平尾南農家区3月14日に開催

・小明・菜畑農家区を合同で3月17日に開催

すでに公告していた高山町傍示地区・大北地区以外の対象となる地区を3月28日に公告した。

○議長 意見・質問について出席委員へ確認

〔「なし」の声あり〕

○議長 農地パトロールの報告を各委員に依頼

○委員 各地区の農業委員が農地パトロールについて報告

○委員 以前農地パトロールをした際に、事務局に確認していただきたいと提案した案件がある。元々

は畑だったところが池になってしまっていて、現在はそれが埋められてその奥が畑だったがそこに全部バラスが入っており、その奥に小さなハウス小屋がある。私が聞いたのは、何か車などを置く置場にされるような噂があるので、確認して欲しいとお願いをした。所有者がもう地元に住んでいないので、我々地元委員としても確認するのは難しいので事務局の方でも確認してみますという話そのままになっている。バラスを敷いた先が少し曲がっており、そこに昔からの農小屋がある。その裏に、簡単に建てれるプレハブのようなものがある。中を事務所のように使えそうな感じで、そのまま止まっている。もしかしたら誰かが連絡をしてくれたのかもしれないが、その後の報告はない。そろそろ相談してから4か月ほど経つのでどうなっているのか知りたい。

○議長 「その他」について事務局に依頼

○係長 2025年農業委員会活動記録セットの説明

○主査 農地パトロールは30分くらいの時間で今後とも引き続きお願いしたい。

○議長 意見・質問について出席委員へ確認

○委員 日本の政府がもっと百姓を作れと言っているが、一生懸命やっても今まで休耕しろと言っていたのに、今更休耕地に米を作れと言われても困るし、調査をしと言われても困る。米の値段が上がったからと言って、荒れてる農地に作れと言われてもすぐには作れない。

○委員 我々は地道な活動をしていくしかないので、頑張っていきましょう。

○議長 ちょうどいい提案をいただいたので、私も今日言おうと思っていたことがある。農業委員会が設置されたという事は、地元の農家さんの思いや、農地の状況などを行政機関或いは上に伝えることにより農家の営農などが改善され生活しやすくなるようにという業務をするために農業委員会が設置され我々がいるということも書いてある。昨年度は地域計画に係る座談会をする中で色んな農家の方のご意見があった。今、委員が言ったことも当然の話だと思う。地域計画を策定して国も農家さんたちの思いにどう答えていくのか、補助金や法律を作っている。我々もそれを見据えるだけでいいのかと思うのだが、先ほど言ったように行政機関に伝えるのも一つの仕事である。生駒市長にその辺りのことを纏めて今期25期の意見書として提出するのも一つの手だと思う。今まで、農機具の斡旋等1年間で色んなことを話し合ってきた。それをもう一度掘り起こしていただいて、紙に起こし、それを意見書という形で2、3か月かけて作って次年度の予算取り等関係があるので、早いうちに市長に手渡ししたいと思っているが、いかがでしょうか。少し汗をかいていただくことになるかとは思いますが、どうだろうか。

○議長 出席委員へ確認

〔「結構です」の声あり〕

○議長 すぐには言わないが、4月の勤務実績報告の際にメモ書きでかまわないので事務局に意見書を出していただき、事務局からまとめて私にいただけたらまた皆さんに示したいと思う。何を書いていただいても結構です。ただ載せるか載せないかはまたまとめてになると思う。平成の時代に1度イノシシ被害のことで、もう少し予算を付けて欲しいという要望書を書いた実績はある。私が経験したのはその1回きりだ。今回、農業会議の方も説明に来ていただき、農業委員会の設置の理由等を教えていただき1つそれをしてもいいのかと思う。それと前回出張で豊橋市へ行かせていただいた時に、毎年市長にそういった意見書を渡されていると聞いた。一度生

駒市もそういう事してみたいと思うので、4月の勤務報告の際に合わせてお願いしたい。

- 委員 私が以前に使っていない農機具があれば新規就農者等に紹介したらいいんじゃないかと提案したことがあったが、今、農林課の方でその話が進んできて基本的なものが出てきていると聞いた。作りかけたものを見せていただいたが、提案して進んでいる話があるなら、もう少し我々にわかるように農業委員会の定例会の場で伝えていただきたいと思う。昨年現地調査をした際に事務局職員からあの話進んでますよと言われ、今日出来上がった図面などを見せてもらった。そこまで進んでいるのであれば、定例会の場で提案したものなのだから、農林課で進めているのであれば私にしたらもう少し早く教えて欲しかった。我々も協力できることであれば提案したのは我々だが実際にやるのは農林課ですではなくて、やはり農業委員会として推進委員としても、もっと協力しないといけないし、今会長が言われたように我々も尽力しないといけないところもあるので、提案したものが進んでいるのであれば教えていただきたいので、今後ともよろしく願います。
- 委員 農業通信を担当させていただいているのだが、昨年に1回出していたのだが第2号を昨年原稿は全て渡しているのだが、今月もなかった。取材対象の方もどうなったのかと思っている方もいると思うのでお忙しいとは思いますが出していたかと思う。
- 主査 3月に決裁を回し始めたが、修正箇所などがでてきていた。定例会が終わった後で執筆者の方にお渡ししようと思っている。
- 委員 先ほどの議案第2号の(案)のことだが、承認された時点で(案)は取れると言っていたが、この後書類を回していきますと事務局の方が言っていたが、(案)が取れたことを事務局ではっきり言ってもらった方がいいと思う。(案)のついた書類で今後手続きをするのではなく、(案)の取れた書類で今後手続きをしていくと。私たちは承認された時点で(案)がとれると聞いたが、取れましたという事は聞いていないので、その辺はどうなのか。
- 係長 一般的に他の総会などで(案)でかけて承認がされたら、承認されましたということで(案)を消して承認という形をとりますと事務局で伝える。その内容をまた記録等に残していき(案)が取れたという事を農業委員会の定例会の中で残していく。
- 委員 この定例会の時点で承認されましたので(案)は取れました。取れた状態で以後の手続きを進めますと一言言ってほしいと思う。
- 議案 市長から意見を求められているのに本当にここで(案)は取れるのか。この(案)に対して農業委員会の意見はないと返すので、その時点で(案)が消えるのは何故なのかと思う。
- 係長 この件については農林課も含めて内容を確認させていただきたい。
- 委員 許可承認ということで、異議なしの時点で農業委員会の許可になると思う。
- 議長 意見聴取について異議なしということではないのか。その意見をもって農林課が判断するのではないかと思う。
- 議長 新規就農者の面談をしたが、ここには上がっていない件について説明してほしい。
- 主査 今般審議案件にはあげていないのだが、南田原町で農地付き古民家の販売というのがあり、農地面積については240㎡ほどの案件があった。少し前から話は聞いていたのだが、どう手続きをすればいいのか迷っていた。これまでは農地取得イコール就農するという形の手続きしか

なかったので、この面積なら家庭菜園レベルだと思う。特定農地貸付という制度があるが、概ね300㎡を一人当たり貸し付けている。それより少ない面積なのでサラリーマンがするようなレベルだと思う。事務局としても他市がどのように対応しているのかを12市が集まる会議で確認を取ったところ、事例がないのが2市か3市だった。大半が農地法第3条で申請してもらい面談等をして許可をしているとのことだった。一旦、申請を出していただいたが農地の取得なので、農地を荒らすことなく耕作していただくことが必要なので、面談した上で今回は見送ることにした。会長からの話もあったが、農業ビジョンなどで似たような旨が書かれていたこともあり、農業委員会としても今後同じようなことがあった場合どういう方向付でやっていくかを要綱ではないが、取り組みなどを決めてはどうかと提案を受けた。まだ調査などはなにもできていない状況だが、今後進めていかなくてはならないかと思っている。今回は申請者の方にはお見送りいただいて、後日ある程度市の方針が決まったら、またお手続きをいただくという形で終わっている。

○議長 一旦取り下げられている案件で、その際にこの状態では却下になるという話も伝えてある。これを認めていくという方向がいいのかとも思うが、それについては条件を提示しておかなくてはならない。並行して事務を進めていただきたい。

○主査 「女性農業者向け農業者年金マンガ版パンフ」の説明

○議長 次回の日程についての説明を事務局に依頼

○係長 次回の日程について

定例会 令和7年5月12日(月)午後2時 市役所 401・402会議室

現地調査 令和7年5月8日(木)

5月7日(水)までに同行いただく委員に連絡する。

○議長 閉会宣言

午後3時51分閉会

農業委員会等に関する第27条の規定により、令和7年生駒市農業委員会第4回定例会の議事録を作成し、ここに署名する。

会 長 10番

農業委員 7番

農業委員 8番